

令和5事業年度

# 決算報告書

自：令和 5年4月 1日

至：令和 6年3月31日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

# 令和5年度 決算報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	21,516	21,813	297	(注1)
補助金等収入	2,402	2,235	△ 166	(注2)
施設整備費補助金	700	154	△ 545	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	12	12	-	-
自己収入	196	453	256	(注4)
雑収入	196	453	256	-
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,688	4,232	543	(注5)
目的積立金取崩	55	-	△ 55	(注6)
計	28,572	28,902	329	-
支出				
業務費	21,768	21,597	△ 171	(注7)
教育研究経費	21,768	21,597	△ 171	-
施設整備費	712	166	△ 545	(注8)
補助金等	2,402	2,235	△ 166	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,688	3,622	△ 65	(注10)
計	28,572	27,622	△ 949	-
収入-支出	-	1,279	1,279	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたため、予算額に比して決算額が297百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が166百万円少額となっています。
- (注3) 施設整備費補助金については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が545百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階での見込みより著作権料収入及び特許料収入の増加などにより、予算額に比して決算額が256百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等では、産学連携等研究収入の増加などにより、予算額に比して決算額が543百万円多額となっています。
- (注6) 当初計画の変更があったため、予算額に比して決算額が55百万円少額となっています。
- (注7) 運営費交付金の一部について、業務達成基準を適用し次年度に繰り越したため等により、予算額に比して決算額が171百万円少額となっています。
- (注8) 注3に示した理由等により、予算額に比して決算額が545百万円少額となっています。
- (注9) 注2に示した理由等により、予算額に比して決算額が166百万円少額となっています。
- (注10) 翌事業年度への繰越額の増加などにより、予算額に比して決算額が65百万円少額となっています。  
また、決算額には前事業年度繰越額として、受託研究費255百万円、共同研究費130百万円、受託事業費5百万円を含んでいます。